

走行チェックシート

日付	2011年10月9日 (日)		時間	~	イベント	2011MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦		
天気	晴れ		マシン	GSX-R600 L1	ライダー	手島雄介		
コース	名称	岡山国際サーキット			気温	-	°C	
	コンディション	DRY			気圧	-	hpa	
	路面温度	-	(計測時間)		湿度	-	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0045Q-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40			
	ファイナルレシオ	15 x 45(3.0)						
トランスミッション	1st	43/16	2.69	4th	35/23	1.52		
	2nd	40/19	2.11	5th	32/23	1.39		
	3rd	37/21	1.76	6th	32/26	1.23		
フロント	パーツ名	SHOWA KIT		TEN	-13			
	スプリング	9.25	N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長	-	mm	油面	130	mm		
	イニシャル	12	mm	残ストローク	mm			
	COMP	-15		突き出し	5	mm		
リア	パーツ名	SHOWA KIT (316.5mm)		TEN	-10			
	スプリング	86.9	N/m	残ストローク	mm			
	自由長	-	mm	リンク	STD			
	イニシャル	13	mm	リンクロッド	STD	mm		
	COMP(HI)	+2回転		車高	STD+6mm mm			
	COMP(LO)	-10						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ アンビートン02 (R3 ソフト)		銘柄	ダンロップ アンビートン02 (R2 ミディアム)			
	サイズ	120/70R17		サイズ	180/55R17			
	エア圧	190		エア圧	150			
チェック	順位	出走せず		ベストラップ	1' 35.70			
	水温	°C		油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ		

<コメント>

SUGOのあと手島選手はアジア選手権のオートポリスに参戦しました。
 RACE1は7位、RACE2は11位でした。
 岡山国際サーキットの事前テストは台風の影響もあってWETコンディションでした。
 レインタイヤで周回を重ねて二日目の午後にはドライで走行が出来ました。
 迎えたレースウィーク、前回のテストから車高を+3mmにし、バネレートを8.75から9.25へ。
 1本目の走行からギヤ抜けが始めました。
 2本目の走行もギヤがきちんと入らない状況が続きました。
 そんな状態ではライダーも集中して走ることが出来ません。予選は早々に切り上げて不本意ながら最下位グリッド。
 ペダルを変更したりしましたが、あまり変化が無く朝フリーを終了した時点で、状況が改善されません。
 このままの状況では危険と判断して、決勝レースは出走しないことにしました。
 非常に残念ですがもともと危険な競技なので安全は最優先です。
 もし何かトラブルが出た場合は潔くやめる事が大事です。
 次は、鈴鹿の最終戦があります。
 何とかいい結果を残せるように頑張りますので、応援宜しくお願いします。

レーシングサプライ
 畑中 健太郎